

バス交通対策事業

都市安全部 道路政策課

1 事業計画

高齢者をはじめとした市民の移動手段の確保の観点から必要性が高まっている公共交通について、現在策定している「宝塚市地域公共交通計画」における公共交通の整備方針に基づいて、市民が日常生活で必要な活動機会の確保に向けた取組みを実施していきます。主な事業は、以下のとおりです。

(1) 南部地域の公共交通サービス

現在運行補助している山手地域（仁川・売布）のバス路線は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等による利用者減少から市補助額が増大しています。今後、沿線地域の活動機会を維持するため、交通事業者と連携し効率的な運行や地域住民と共に利用促進に取り組みます。また、その他の地域においても、それぞれの地域特性に合った公共交通サービスについて、他市町での導入事例などを研究し、行政、交通事業者と市民の三者が連携して検討していきます。

(2) 北部地域の公共交通サービス

北部地域のバス路線は、人口減少や自動車交通の普及などから利用者が減少しており、運行赤字が増大し運行維持が困難となっています。また、高齢化が進むなか、バス停まで遠いことでバスが利用しづらい人に対するボランティア輸送の維持・継続が課題となっています。今後、利用者の実態に合った運行形態等について交通事業者、地域住民と連携して検討していきます。

(3) モビリティ・マネジメントの実施

市が参加する阪神都市圏公共交通利用促進会議で作成する「えきバスまっぷ。」をサービスセンター等公共施設に設置したり、様々なイベント時に配布することで新たな公共交通の利用促進や転入者を対象としたバスの乗り方や運賃制度、お得なバスの利用方法が示された「阪急バスのノリセツ」の配布等により、公共交通の利便性や快適性を知っていただき、より便利に利用していただくための情報提供等を交通事業者とも連携し実施します。

2 バス路線廃止及び新設状況（令和4年度バスダイヤ改正状況）

阪急バスの運行内容が、令和4年4月30日に変更がありました。主な運行内容の変更は、以下のとおりです。

〔新設・延伸〕

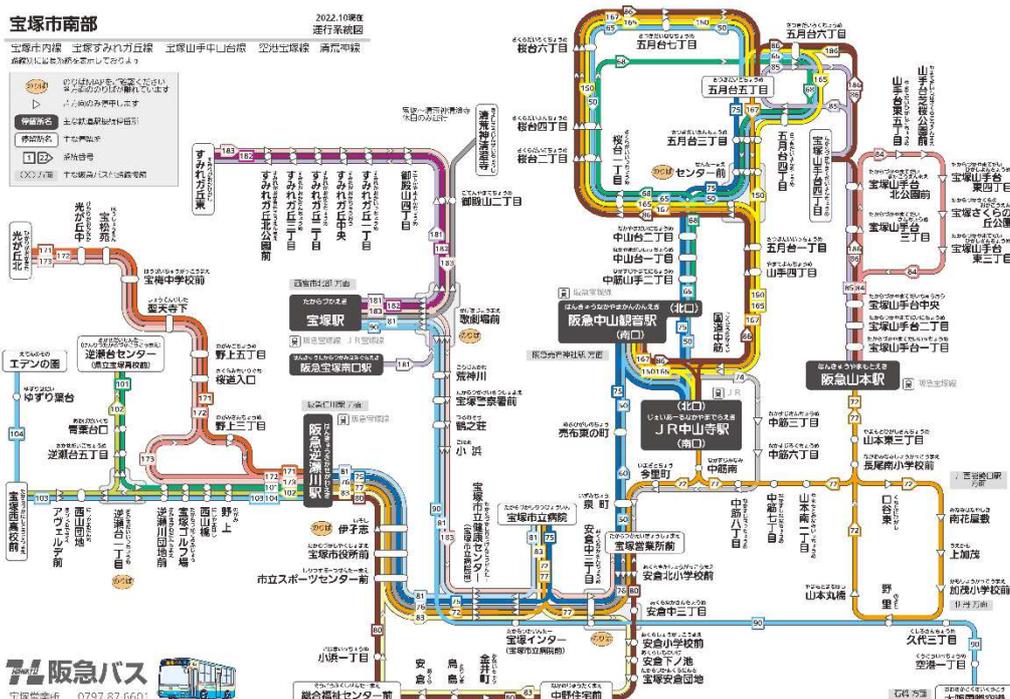
- ・宝塚川西線（宝塚駅～宝塚市立病院～阪急川西能勢口駅）の廃止に伴い、阪急逆瀬川駅東口～宝塚市立病院～宝塚駅を新設
- ・売布きよしが丘系統と泉ガ丘系統を統合し、阪急中山観音駅、宝塚市立病院に接続する運行系統の新設
- ・回送の実車化により、総合福祉センター前から中野住宅前間を結ぶ運行系統の新設（阪急逆瀬川駅～総合福祉センター前～中野住宅前～宝塚営業所前）
- ・山手台東地区（阪急山本駅→山手台芝桜公園前→宝塚山手台東三丁目→阪急山本駅）への路線延伸

〔廃止・減便〕

- ・宝塚西高校前系統・逆瀬台センター系統において、運行間隔等の変更により減便
 （宝塚西高校前系統：阪急逆瀬川駅～宝塚西高校前～エデンの園）
 （逆瀬台センター系統：阪急逆瀬川駅～宝塚西高校前～逆瀬台センター）
- ・野里循環系統（阪急山本駅～口谷東～野里～阪急山本駅）において、運行間隔を60分から120分に変更により減便
- ・総合福祉センター前→中野住宅前間を延伸する路線が新設（阪急逆瀬川駅→宝塚市立病院前→中野住宅前→総合福祉センター前→阪急逆瀬川駅）されたが、平日1本の一方方向運行となり、以前に比べ利便性が低下
- ・中山台地区から宝塚市立病院への直行便の減便
- ・阪急中山観音駅発の夜間時間帯の減便

〔その他〕

- ・売布循環線・仁川循環線について、土曜日の運行ダイヤを日曜・祝日ダイヤへ変更



出典) 阪急バス HP